いっちん子ども自然塾　　1月度報告

活動の目的　農作業歳時記に従って、子どもたちに年間を通じて農作業を体験し、森の草木や生きものを観察し、自然とかかわることの楽しさを味わい、自然環境の大切さを学習してもらう

1. 開催日時　2024年1月14日（日）　10時～14時30分　快晴
2. 参加人数　参加者　16名　（欠席4名）　参加スタッフ　13名
3. 行事内容　1　農作業;　餅つきで小正月を祝う（餅まるめを含む）
　　2　森の学習;　落ち葉掻きと堆肥つくり
　　3　森の整備；ススキの穂の刈込み
4. スケジュールと活動概要

10:00-10:15	挨拶、先月の活動思い出し、本日のスケジュール説明と注意事項
10:20-12:10	モチ米の説明、餅つき、餅まるめを体験　計6臼（少しコメを増量し20kg使用）
12:10-13:00	手洗い後、昼食（希望者に芋煮汁ときな粉餅）。あとは自由時間。
13:00-14:00	落ち葉掻き、ガラ袋詰め、運搬、堆肥つくり
14:00-14:25	ススキの穂の刈込み（鋸鎌ではなく剪定ばさみを使用）
14:25-14:30	今日の振り返り、お土産に小餅6ケ入り2袋ずつ。

5. 活動補足と所見
- 餅つきは、昨年同様6臼としたが、1割増量しモチ米20kgを使った。
- 子どもたちは、餅つき、と餅まるめを任意に繰り返し熱心に取り組んだ。
  初回分の餅まるめは、うまく丸めきれなかった分がいくつか発生したが、2回目からはコツを学び上達し、形も丸く揃ってきた。
- 6臼目はついたまま粉を付けず、別途準備した芋煮汁に入れたり、きな粉餅にするなど自由に喫食した（お代わり自由にて堪能できたと思います）
- まるめた小餅は、お土産として持ち帰った。
- 午後は、ササユリの谷にて落ち葉掻きを行った、ガラ袋に詰め、てんでに担いで堆肥場まで運んだ。
  堆肥場で説明を聞いた後、落ち葉を投入し、米ぬか・鶏糞・水を混ぜ皆で踏んで、堆肥つくりの初回作業を終えた。
- ススキ育成区の高架下周辺で、ススキの穂の刈込作業に取り組んだ。
- 一日のメニューを終えた後、畑でダイコンを一本ずつ引き抜いて、お土産に持ち帰った。

8. 活動風景

餅つき、餅まるめ

落ち葉掻き

寒い日で、農小屋の池に張っていた厚い氷

堆肥つくり

ススキの穂の刈込

ダイコンを収穫し お土産に！